

# 陸連時報 三

2019  
平成31年

3 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

## 目 次

2019年の取り組み(専務理事 尾縣貢) .....	166
2019日本グランプリシリーズ情報 .....	167
“日清食品カップ”第21回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会報告 (普及育成委員会 普及育成部 岸政智) .....	172
JAAF公認コーチ養成講習会専門科目講習会報告(普及育成委員会 沼澤秀雄) .....	173
2018年度 全国検定員会議 報告(施設用器具委員会) .....	174
日本陸連栄養セミナー 2019開催要項 .....	176
2018数字で見る陸上競技Vol.4 都道府県別高校生陸上競技部員割合 .....	177
大会観戦ガイド .....	178
陸協NEWS .....	180
事務局からのお知らせ .....	182

## 公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

# 2019年の取り組み

専務理事 尾 縣 貢



東京オリンピック・パラリンピックまで1年半を切りました。世紀の大イベントを迎えるにあたり、「やれることを全てやり尽くして本番に臨む」べく、総力をあげて準備に当たってきました。皆様にご協力を賜り、その準備は概ね順調と言えますが、この1年が勝負の年になってきます。

その進捗と今後の取り組みについてご報告いたします。

## 競技力の強化

昨年の夏にジャカルタで開催されましたアジア競技大会では、事前の目標を上回る5個の金メダルを獲得することができました。その内訳は、男子の200m、4×100mリレー、50km競歩、棒高跳、10種競技であり、強化委員会が重点強化に位置付けている種目での活躍が際立ちました。一方、女子では野上恵子（十八銀行）の銀メダル、マラソン、ハンマー投、7種競技での3個の銅メダルに終わり、競技力強化が停滞している実態も明らかになりました。残りわずかの期間ではありますが、メダル・入賞を目指す種目、出場を目指す種目を区分して、それぞれで明確な目標と周到な計画を持って強化に当たっていく必要があります。

特にオリンピックでは地元枠の設定がありませんので、出場権を自力で獲得しなければならず、その水準への到達を目指していきます。そのような状況下、女子リレーでは、新プロジェクトを発足しました。優れたタレントを集め計画的な強化活動により、オリンピック出場権の獲得を目指すというものです。

アジア大会での酷暑の環境下での戦い方やコンディショニングは、東京オリンピックにも共通するものであるという認識から、科学委員会を中心にサポート活動を展開していただきました。今後も医事委員会、科学委員会のサポートを得ながら、酷暑のオリンピックへの準備を続けていく計画です。

強化策の小修正が求められる事案も発生いたしました。2019年世界陸上競技選手権大会（ドーハー）から導入される予定であったポイント・ランキングによる出場権獲得制度が先延ばしとなりました。これまでどおりの標準記録制度に対応した取り組みを進めつつ、2020東京オリンピックでは導入される予定であるポイント・ランキング制度にも備えないとなりません。これは、競技会日程の見直しなども含む施策の展開となりますので、関係各位のさらなるご理解ご協力もお願いいたします。

## 本年の主要な競技イベント

2019年は、オリンピックにつながる競技イベントが相次ぎます。4月にドーハーで開催されますアジア選手権大会は、

9月同市で開催される世界選手権大会への切符をかけた重要な場であると共に、オリンピック出場のための高いポイントを獲得できる競技会となります。ほとんどの種目で重要競技会と位置づけており、シーズン早期のピーキングが求められます。

5月には、横浜国際総合競技場でのIAAF世界リレー 2019 横浜が続きます。4×100mリレー、4×400mリレー、混合4×400mリレーなど男女合わせて9種目が実施される予定です。この大会の上位10チーム（混合4×400mリレーは12チーム）が9月の世界選手権大会に駒を進めることができ、そこでの上位8チームが東京オリンピックの出場権を得るために極めて重要な意味を持ちます。男子4×400mリレーや女子リレーには、地元の声援を追い風にしてオリンピック出場の突破口にしてもらいたいものです。

9月15日には、オリンピックコースを使用したオリンピックのマラソン選考会であるマラソン・グランド・チャンピオンシップ（MGC）を開催します。2年間のMGCシリーズなどで出場権を得たランナーたちがスタートラインに立ちます。残暑の時期、オリンピックと同じコース（スタート・ゴールは異なる）ということで、東京オリンピックへの適性を試すレースとなります。これは、TBS、NHKでの男女別の放映が予定されています。沿道で、そしてテレビを通じて大きな声援をランナーたちに届けていただくことをお願いします。

こういった競技イベントは、東京オリンピック・パラリンピックの競技運営能力を高める場としても活用していきます。各加盟団体から選りすぐりの競技役員、JTOらの皆さんには、国際審判に求められる高い運営能力だけでなく、ホスピタリティなども身につけていただく機会となります。

## ポスト2020を考える

昨年11月に公表しました競技者育成指針に則り、「一人でも多くの人が陸上競技を楽しみ、そして関わり続けること」の実現に向けて施策を展開していきます。人生を6つのステージに分けて、それぞれのステージでのスポーツ、陸上への関わり方が明確にされています。これを実践するためには、それぞれのステージにおける活動内容、競技会のあり方などを再考していくことが求められます。特に、小学校、中学校、高校での活動においては、それぞれの関係者との協議が大切になってきます。

もう1点は、ミッションとしてあげている「ウエルネス陸上の実現」です。週1回以上、陸上・ランニングを行う人口2000万人を目標に、昨年11月に設立したRUN LINKを中心に種々の活動を展開していきます。まずは、日本中のロードレースを安心・安全なものにして、マラソンブームをマラソン文化にしていくことが課題となります。そのためには、大会同士の情報の交換、安心安全な大会づくり、正しいランニングの普及、ランナーサービスなどについて積極的に推進をしていきます。

加盟団体、協力団体、スポンサー各社、陸上ファンの皆様の支えをいただきながら本年の活動を展開してまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 2019日本グランプリシリーズ要項

公益財団法人日本陸上競技連盟

## 1. シリーズ指定大会

### (1) 日本グランプリプレミア (以下、GPP) 4大会

- 1) 日本グランプリシリーズ プレミア 東京大会  
TOKYO Combined Events Meet 2019
- 2) 日本グランプリシリーズ プレミア 神戸大会  
第67回兵庫リレーカーニバル
- 3) 日本グランプリシリーズ プレミア 広島大会  
第53回織田幹雄記念国際陸上競技大会
- 4) 日本グランプリシリーズ プレミア 静岡大会  
第35回静岡国際陸上競技大会

### (2) 日本グランプリ (以下GP) 9大会

- 1) 日本グランプリシリーズ 熊本大会  
第28回金栗記念選抜陸上中長距離大会2019
- 2) 日本グランプリシリーズ 出雲大会  
吉岡隆徳記念第73回出雲陸上競技大会
- 3) 日本グランプリシリーズ 延岡大会  
第30回ゴールデンゲームズinのべおか
- 4) 日本グランプリシリーズ 水戸大会  
2019水戸招待陸上
- 5) 日本グランプリシリーズ 大阪大会  
第6回木南道孝記念陸上競技大会
- 6) 日本グランプリシリーズ 鳥取大会  
布勢スプリント2019
- 7) 日本グランプリシリーズ 札幌大会  
第32回南部忠平記念陸上競技大会
- 8) 日本グランプリシリーズ 山口大会  
第16回田島直人記念陸上競技大会
- 9) 日本グランプリシリーズ 北九州大会  
第41回北九州陸上カーニバル

## 2. 実施種目

別表参照

## 3. 招待基準・参加資格

### (1) 日本グランプリプレミア

- 1) 国内招待競技者
    - ①日本陸連強化競技者 (ゴールド・シルバー)  
※関連種目でも招待。
    - ②ジャカルタ2018アジア競技大会日本代表競技者  
(リレーは含まない)
    - ③第102回日本陸上競技選手権大会の各種目の優勝者。但し、その種目に限る。
    - ④2018年度日本グランプリシリーズ種目別チャンピオン。但し、その種目に限る。
- ※①～④の基準で、3名に満たない場合は、第102回日本選手権2位、3位の順で3名になるまで追加する。(但し、その種目に限る)

⑤第102回日本陸上競技選手権大会クロスカントリレー競走シニア男子10kmの優勝者と、シニア女子8kmの優勝者は、5000m及び10000mに招待する。

※男女5000mと男女10000mは、両種目とも有効とする。

ただし、5000m、10000mについては、下記の招待競技者の中で出場申込が確認された各種目招待基準の上位から6名前後の競技者を、大会主催者及び日本陸連強化委員会で検討の上、決定する。

⑥上記に該当しない2018年度ランキング上位の競技者の中から日本陸連強化委員会及び主催者が特別に推薦する競技者。

### 2) 一般参加競技者

- ①規定有効期限内 (2018年1月1日～申込締切日) に参加標準記録を満たした競技者。
- ②日本陸連強化委員会及び主催陸上競技協会が推薦する競技者。

### (2) 日本グランプリ

- 1) 国内招待競技者  
グランプリ種目については、次の優先順位で最低1名を招待する。
  - ①日本陸連強化競技者 (ゴールド・シルバー)  
※該当種目を対象とする。
  - ②ジャカルタ2018アジア競技大会日本代表競技者  
(リレーは含まない)
  - ③2018年度日本陸上競技選手権大会の各種目の優勝者。但し、その種目に限る。
  - ④2018年度日本グランプリシリーズ種目別チャンピオン
  - ⑤上記に該当しない2018年度日本ランキング上位の競技者の中から、日本陸連強化委員会及び主催者が特別に推薦する競技者

※上記で招待する1名以外の招待競技者については、各大会独自の招待基準で招待。
- 2) 一般参加競技者  
開催種目の出場人数などは、各大会の開催規模に合わせて主催者が決めるが、下記①、②の競技者が申し込みをした場合、優先的にエントリーする。
  - ①日本グランプリプレミア参加標準記録を突破している競技者
  - ②日本陸連強化委員会又は主催陸協推薦競技者
  - ③主催陸協が認める競技者

〈2019 日本グランプリプレミア実施種目〉

(男子)

種目	GPプレミア エントリー 規定数	GPプレミア 参加標準 記録	強化 カテゴリ	1		2		3		4
				東京混成 駒沢		兵庫 RC ユニバ		織田記念 エディオン		静岡国際 エコバ
				4月20日(土) 4月21日(日)	4月21日 (日)	4月27日 (土)	4月28日 (日)	5月3日 (金・祝)		
100m	24	10.40	Gold					●		
200m	24	21.00	Gold						●	
400m	24	-	TOP8					○ (300m)		
		46.90						●		
800m	16	1.49.30	TOP8						●	
1500m	16	3.45.00	WC		●					
5000m	-	7.56.00 (3000m)	TOP8							
		13.45.00 (5000m)								
		28.26.00 (10000m)				●				
10000m	-	28.26.00 (10000m) 13.45.00 (5000m)	TOP8		●					
110mH	24	13.95	TOP8					●		
400mH	24	51.00	メダル						●	
3000mSC	16	-	TOP8					○ (2000mSC)		
		8.52.00			●					
走高跳	12	2.14	TOP8						●	
棒高跳	12	5.30	メダル					●		
走幅跳	12	7.70	TOP8					●		
三段跳	12	15.85	TOP8					●		
砲丸投	12	16.00	WC	●						
円盤投	12	50.00	WC		●					
ハンマー投	12	62.50	WC						●	
やり投	12	74.00	メダル					●		
十種競技	16	7000	TOP8	●						
実施種目数 (GP種目●)				2	4		7		6	
実施種目数 (チャレンジ種目○)				0	0		2		0	

(女子)

種目	GPプレミア エントリー 規定数	GPプレミア 参加標準 記録	強化 カテゴリ	1		2		3		4
				東京混成 駒沢		兵庫 RC ユニバ		織田記念 エディオン		静岡国際 エコバ
				4月20日(土) 4月21日(日)	4月21日 (日)	4月27日 (土)	4月28日 (日)	5月3日 (金・祝)		
100m	24	11.80	リレー					●		
200m	24	24.35	リレー						●	
400m	24	-	リレー					○ (300m)		
		55.10						●		
800m	16	2.08.80	WC						●	
1500m	16	4.21.50	WC		●					
5000m	-	-	メダル							
		15.50.00				●				
10000m	-	33.00.00 (10000m) 15.40.00 (5000m)	メダル		●					
100mH	24	13.70	WC					●		
400mH	24	59.30	WC						●	
3000mSC	16	-	TOP8					○ (2000mSC)		
		10.35.00			●					
走高跳	12	1.74	WC		●					
棒高跳	12	3.80	WC		●					
走幅跳	12	6.00	WC		●		●			
三段跳	12	12.50	WC						●	
砲丸投	12	13.80	WC					●		
円盤投	12	46.00	WC		●					
ハンマー投	12	54.00	WC						●	
やり投	12	53.50	メダル					●		
七種競技	16	4800	WC	●						
実施種目数 (GP種目●)				1	6		6		6	
実施種目数 (チャレンジ種目○)				0	0		2		0	

〈2019 日本グランプリ種目配置〉

(男子)

種目	強化 カテゴリー	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		金栗記念 県民総合	出雲陸上 浜山	GG延岡 西階	水戸招待 Kスタ水戸	木南記念 ヤンマースタジアム	布勢スプリント 布勢総合	南部記念 厚別	田島記念 維新百年記念	北九州C 北九州
		4月14日 (日)	4月21日 (日)	5月4日 (土・祝)	5月5日 (日・祝)	5月6日 (月・祝)	6月2日 (日)	7月7日 (日)	10月20日 (日)	10月26日(土) 10月27日(日)
100m	Gold		●		○	●	●	●	●	
200m	Gold					●				
300m	TOP8		●						●	
400m						●				
800m	TOP8					●				
1500m	WC	●		●						
5000m	TOP8	●		●						
10000m	TOP8			●						
110mH	TOP8				○	●	●	●	●	
400mH	メダル					●		●		
3000mSC	TOP8									
走高跳	TOP8				●					●
棒高跳	メダル				●			●		
走幅跳	TOP8				●			●	●	●
三段跳	TOP8							●	●	
砲丸投	WC				●					●
円盤投	WC				●					●
ハンマー投	WC							●	●	
やり投	メダル							●		●
十種競技	TOP8									
実施種目数 (GP種目●)		2	2	3	5	6	2	8	6	5
実施種目数 (チャレンジ種目○)		0	0	0	2	0	0	0	0	0

(女子)

種目	強化 カテゴリー	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		金栗記念 県民総合	出雲陸上 浜山	GG延岡 西階	水戸招待 Kスタ水戸	木南記念 ヤンマースタジアム	布勢スプリント 布勢総合	南部記念 厚別	田島記念 維新百年記念	北九州C 北九州
		4月14日 (日)	4月21日 (日)	5月4日 (土・祝)	5月5日 (日・祝)	5月6日 (月・祝)	6月2日 (日)	7月7日 (日)	10月20日 (日)	10月26日(土) 10月27日(日)
100m	リレー		●		●		●	●	●	
200m	リレー									
300m	リレー		●						●	
400m						●				
800m	WC					●				
1500m	WC	●		●						
5000m	メダル	●		●						
10000m	メダル					●				
100mH	WC				○	●	●		●	
400mH	WC					●		●		
3000mSC	TOP8									
走高跳	WC				●				●	
棒高跳	WC				●			●		
走幅跳	WC				●				●	
三段跳	WC							●		●
砲丸投	WC							●		●
円盤投	WC				●					●
ハンマー投	WC								●	
やり投	メダル					●		●		●
七種競技	WC									
実施種目数 (GP種目●)		2	2	2	5	6	2	6	6	4
実施種目数 (チャレンジ種目○)		0	0	0	1	0	0	0	0	0

# 2019 日本グランプリシリーズ 大会情報

## GP プレミア

<b>GP プレミア TOKYO Combined Events Meet 2019</b>	
大会日	2019年4月20日(土)～21日(日)
大会会場	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1
大会事務局	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-28-3 武井ビル5階 (公財) 東京陸上競技協会 TEL: 03-3203-6123 / FAX: 03-5292-0196
大会本部ホテル	ホテルザーフ渋谷 〒153-0044 東京都目黒区大橋2丁目24-4 TEL: 03-5433-8711 / FAX: 03-3795-1023
申込ホームページ	<a href="http://www.toriku.or.jp">http://www.toriku.or.jp</a>

<b>GP プレミア 第53回織田幹雄記念国際陸上競技大会 アジア陸連バーミット大会2019</b>	
大会日	2019年4月27日(土)～28日(日)
大会会場	広島広域公園陸上競技場 〒731-3167 広島市安佐南区大塚五丁目1番1号 TEL: 082-848-8484 / FAX: 082-848-8460
大会事務局	〒730-0011 広島市中区基町4-1 広島県体育協会内 (一財) 広島陸上競技協会 TEL: 082-223-3256 / FAX: 082-222-6991
大会本部ホテル	リーガロイヤルホテル広島 (RIHGA ROYAL) 〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL: 082-502-1121 / FAX: 082-228-5415
申込ホームページ	<a href="http://hiroshimaf.org">http://hiroshimaf.org</a>

<b>GP プレミア 第67回兵庫リレーカーニバル アジア陸連バーミット大会2019</b>	
大会日	2019年4月21日(日)
大会会場	ユニバー記念競技場 〒654-0163 神戸市須磨区緑台 TEL: 078-793-6150
大会事務局	〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸新聞社 地域活動局事業部 TEL: 078-362-7086 / FAX: 078-360-5519
大会本部ホテル	ANA クラウンプラザホテル神戸 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目 TEL: 078-291-1121 / FAX: 078-291-1151
申込ホームページ	<a href="http://www.haaa.jp">http://www.haaa.jp</a>

<b>GP プレミア 第35回静岡国際陸上競技大会 アジア陸連バーミット大会2019</b>	
大会日	2019年5月3日(金・祝)
大会会場	静岡県小笠山総合運動公園 エコバスタジアム 〒437-0031 袋井市袋井2300-1 TEL: 0538-41-1800 / FAX: 0538-41-1807
大会事務局	〒420-0836 静岡市葵区東町15 (一財) 静岡陸上競技協会 静岡国際陸上事務局内 TEL/FAX: 054-253-9801
大会本部ホテル	掛川グラウンドホテル 〒436-0028 掛川市亀ノ甲1-3-1 TEL: 0537-23-3333 / FAX: 0537-23-2290
申込ホームページ	<a href="http://www2.wbs.ne.jp/~nagata/t&amp;f/">http://www2.wbs.ne.jp/~nagata/t&amp;f/</a>

<b>GP 第28回全業記念選抜陸上中長距離大会2019</b>	
大会日	2019年4月14日(日)
大会会場	えがお健康スタジアム (熊本県総合運動公園陸上競技場) 〒861-8012 熊本県熊本市東区平山町2776 TEL: 096-380-0783 / FAX: 096-389-7280
大会事務局	〒861-8046 熊本県熊本市東区石原2-9-1 熊本県総合運動公園内 (一財) 熊本陸上競技協会 TEL/FAX: 096-388-1688
大会本部ホテル	調整中
申込ホームページ	<a href="http://www.kumariku.com">http://www.kumariku.com</a>

<b>GP 第30回ゴールデンゲームズinのべおか</b>	
大会日	2019年5月4日(土)
大会会場	延岡市西階総合運動公園陸上競技場 〒882-0804 宮崎県延岡市西階町1丁目3800 TEL: 0982-32-5832
大会事務局	〒882-0031 宮崎県延岡市中川原町5-4960 旭化成陸上部内 ゴールデンゲームズinのべおか実行委員会 TEL: 0982-21-1979 / FAX: 0982-22-6019
大会本部ホテル	エンジティホテル延岡 〒882-0047 宮崎県延岡市船屋町1丁目4-28 TEL: 0982-32-6060 / FAX: 0982-32-6777
申込ホームページ	<a href="http://goldengames.jp/">http://goldengames.jp/</a>

<b>GP 第6回本道孝記念陸上競技大会</b>	
大会日	2019年5月6日(月・祝)
大会会場	ヤンマースタジアム長居: ヤンマーフィールド長居 〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-1
大会事務局	〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-1 ヤンマースタジアム長居内 (一財) 大阪陸上競技協会 TEL: 06-6697-8899 / FAX: 06-6697-8766
大会本部ホテル	招待選手 ホテルニューオータニ大阪 〒540-8578 大阪府中央区城見1-4-1 TEL: 06-6941-1111 (代表) 大会本部 大阪陸上競技協会事務局 TEL: 06-6697-8899
申込ホームページ	大阪陸上競技協会大会申込アドレス <a href="mailto:moushikom@oaaa.jp">moushikom@oaaa.jp</a> 大阪陸協HP <a href="http://www.oaaa.jp/">http://www.oaaa.jp/</a>

<b>GP 第32回南部忠平記念陸上競技大会 アジア陸連バーミット大会2019</b>	
大会日	2019年7月7日(日)
大会会場	札幌厚別公園陸上競技場 〒004-0033 北海道札幌市厚別区上野幌3条1丁目 TEL: 011-894-1144 / FAX: 011-894-4299
大会事務局	〒003-0026 札幌市白石区本通5丁目南4番11号 KJビル3号棟2階205号室 (一財) 北海道陸上競技協会 TEL: 011-598-7407 / FAX: 011-598-7408
大会本部ホテル	調整中
申込ホームページ	<a href="http://hokkaido-rikkyo.jp/">http://hokkaido-rikkyo.jp/</a>

<b>GP 第41回北九州陸上カーニバル</b>	
大会日	2019年10月26日(土)～27日(日)
大会会場	北九州市立本城陸上競技場 〒807-0806 福岡県北九州市八幡西区御前4丁目16-1 TEL: 093-692-0886
大会事務局	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビルB2 (一財) 福岡陸上競技協会 TEL/FAX: 092-474-0002
大会本部ホテル	ホテルクラウンパレス北九州 北九州市八幡西区東曲里町3-1 TEL: 093-631-1111
申込ホームページ	<a href="http://www.fukuriku.com">www.fukuriku.com</a>

## GP

<b>GP 吉岡隆徳記念 第73回出雲陸上競技大会</b>	
大会日	2019年4月21日(日)
大会会場	鳥根県立浜山公園陸上競技場 〒699-0722 鳥根県出雲市大社町北荒木1868-10 TEL: 0853-53-4533 / FAX: 0853-53-4556
大会事務局	〒693-0021 鳥根県出雲市湯治町399-18 出雲市陸上競技協会 FAX: 0853-24-3867
大会本部ホテル	調整中
申込ホームページ	<a href="http://www.shimariku.jp">http://www.shimariku.jp</a>

<b>GP 2019 水戸招待陸上</b>	
大会日	2019年5月5日(日)
大会会場	ケーズデンキスタジアム水戸 〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2058-1 TEL: 029-241-8484
大会事務局	〒310-0913 茨城県水戸市見川町2256 (公財) 水戸スポーツ振興協会事務局 事業課スポーツコンベンション推進係 TEL: 029-243-0111 / FAX: 029-243-8271
大会本部ホテル	ホテル ルートイン 水戸県庁前 〒310-0851 茨城県水戸市千波町1953-1 TEL: 029-305-0111 / FAX: 029-305-0112
申込ホームページ	<a href="http://maas.or.jp">http://maas.or.jp</a>

<b>GP 布勢スプリント2019</b>	
大会日	2019年6月2日(日)
大会会場	布勢総合運動公園陸上競技場 〒680-0944 鳥取県鳥取市布勢146-1 TEL: 0857-28-7221 / FAX: 0857-28-1399
大会事務局	〒680-0944 鳥取県鳥取市布勢146-1 布勢総合運動公園陸上競技場内 (一財) 鳥取陸上競技場 TEL: 0857-28-6540 / FAX: 0857-28-6540
大会本部ホテル	調整中
申込ホームページ	<a href="http://www.hal.ne.jp/trk/">http://www.hal.ne.jp/trk/</a>

<b>GP 第16回田島直人記念陸上競技大会</b>	
大会日	2019年10月20日(日)
大会会場	維新みらいふスタジアム 〒753-0815 山口県山口市維新公園4-4 TEL: 083-922-2788 / FAX: 083-922-2769
大会事務局	〒753-0815 山口県山口市維新公園4-4 維新みらいふスタジアム内 (一財) 山口陸上競技協会 TEL: 083-920-6125 / FAX: 083-920-6125
大会本部ホテル	ホテルニュータカ 〒753-0056 山口県山口市湯田温泉2-6-24 TEL: 083-923-1313 / FAX: 083-925-6316
申込ホームページ	<a href="http://yaaf.jp/">http://yaaf.jp/</a>

# 2019年度日本グランプリシリーズプレミア招待選手

強化委員会

2019年度日本グランプリシリーズプレミアの招待基準と招待競技者は以下の通りとする。

## 1. 招待基準

- 1) 日本陸連強化競技者（ゴールド・シルバー）  
※関連種目でも招待。
- 2) ジャカルタ2018アジア競技大会日本代表競技者（リレーは含まない）
- 3) 第102回日本陸上競技選手権大会の各種目の優勝者。但し、その種目に限る
- 4) 2018年度日本グランプリシリーズ種目別チャンピオン  
※上記1)～4)の項目で3名に満たない場合は第

102回日本選手権2位、3位の順で3名になるまで追加する。（但し、その種目）。

- 5) 第102回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走男子10km優勝者と、女子8km優勝者は、5000m及び10000mに招待する  
※男女の5000mと10000mは、両種目とも有効とする。ただし、5000m、10000mについては、下記の招待競技者の中で出場申込が確認された各種目招待基準の上位から6名前後の競技者を、大会主催者及び日本陸連盟強化委員会で検討の上決定する。
- 6) 上記に該当しない2019年度日本ランキング上位の競技者の中から、日本陸連強化委員会及び主催者が特別に推薦する競技者

## 2. 招待競技者一覧

(男子)

種目	招待競技者
100m	飯塚翔太、桐生祥秀、ケンブリッジ飛鳥、多田修平、藤光謙司、サニブラウン アブデルハキーム、山縣亮太
200m	飯塚翔太、桐生祥秀、ケンブリッジ飛鳥、多田修平、藤光謙司、サニブラウン アブデルハキーム、小池祐貴、橋元晃志
400m	ウォルシュ ジュリアン、若林康太、木村 淳
800m	川元 奨、村島 匠、西久保達也
1500m	館澤亨次、荒井七海、田母神一喜
5000m	大迫 傑、設楽悠太、井上大仁、服部弾馬、大六野秀敏、牟田祐樹
10000m	※日本選手権クロスカントリー優勝者（2019年2月23日決定）
110mH	金井大旺、高山峻野、田中新也
400mH	安部孝駿、岸本鷹幸、大林督享
3000mSC	塩尻和也、山口浩勢、東 遊馬
走高跳	戸邊直人、衛藤 昂、大田和宏
棒高跳	山本聖途、竹川侔生、澤野大地
走幅跳	橋岡優輝、城山正太郎、川島鶴楨
三段跳	山下航平、岡部優真、石川和義
砲丸投	畑瀬 聡、中村太地、佐藤征平
円盤投	湯上剛輝、堤 雄司、米沢茂友樹
ハンマー投	墨 訓照、柏村亮太、植松直紀
やり投	新井 涼平、坂本達哉、中西啄真
十種競技	右代啓祐、中村明彦、丸山優真

(女子)

種目	招待競技者
100m	福島千里、世古 和、市川華菜
200m	福島千里、市川華菜、前山美優
400m	川田朱夏、広沢真愛、岩田優奈
800m	北村 夢、塩見綾乃、川田朱夏
1500m	高松智美ムセンビ、田中希実、卜部 蘭
5000m	安藤友香、松田瑞生、鍋島莉奈、山ノ内みなみ、岡本春美
10000m	※日本選手権クロスカントリー優勝者（2019年2月23日決定）
100mH	青木益未、紫村仁美、木村文子
400mH	宇都宮絵莉、青木沙弥佳、小山佳奈
3000mSC	石澤ゆかり、森智香子、佐藤奈々
走高跳	仲野春花、樋口愛莉、高橋渚
棒高跳	南部琉璃、仲田 愛、那須真由
走幅跳	高良彩花、中野 瞳、秦澄美鈴
三段跳	坂本絵梨、森本麻里子、中野 瞳
砲丸投	郡菜々佳、太田亜矢、大野史佳
円盤投	齋藤真希、藤森夏美、辻川美乃利
ハンマー投	勝山眸美、渡邊 茜、佐伯珠実
やり投	齊藤真理菜、宮下梨沙、森 友佳
七種競技	山崎有紀、ヘンピル恵、桐山智衣

※男女5000m、10000mの招待競技者は、今後開催されるマラソン、日本選手権クロスカントリー（福岡）の結果で追加の可能性有り。

# “日清食品カップ”第21回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会

普及育成委員会 普及育成部 岸 政智

“日清食品カップ”第21回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会は、全国47都道府県代表チームと、地元大阪の3チームを加えた50チームの参加により、平成30年12月8日(土)・9日(日)2日間の日程で開催された。

第1日目は、大阪府池田市市民文化会館 大ホール(アゼリアホール)において、研修会と監督会議が行われた。

13時より選手団受付が始まり、14時に研修会が開始された。今回は、前日の研修会を夏の大会と同様に大きく内容を変え、トップアスリートとのトークショー形式にした。まずは、開催地池田市を代表して倉田薫市長より歓迎のご挨拶をいただき、その後参加50チームの紹介と挨拶が行われた。それと並行して、監督者会議は14時から2階コンベンションホールにて行われ、主管である大阪陸上競技協会の司会進行で、大会当日の諸注意が説明され、質疑応答が行われた。

小学生と他の指導者は大ホールで研修会を引き続き行った。研修会は、スペシャルゲストとして、地元大阪出身の多田修平選手(関西学院大学)を招聘した。講師は公益財団法人日本陸上競技連盟(以下日本陸連)普及育成委員会 普及育成部 副部長の岸政智(司会・発育発達)と大畑好美委員(栄養)が行った。まずは、昨年大ブレイクした多田選手の活躍シーンを映像で流した後に入場。大きな歓声の中ご登壇いただいた。はじめに、昨年の世界陸上でウサイン・ボルト選手との直接対決。60mあたりまでボルト選手に先行して走ったときの気持ちなどを聞いてみた。その後、ロンドン世界陸上のリレーの銅メダル、今年のアジア大会のリレーメダルをお持ちいただき、選手たちに披露し、選手たちの興味付けとなった。

今年日本陸連では、競技者育成指針を発表した。ジュニア期には一つの種目にこだわらずに複数種目を楽しむ行くことを推奨している。その中にはサッカーや水泳などを行うと良いとのデータがあり、多田選手にお聞きすると偶然にも小学校時代に、この2種目を楽しみながらしていたとのこと。その他、相対年齢効果や陸上競技を専門とする時期が遅いなど資料を通して説明をした。選手にその場でいろいろと質問をしたところ、早生まれの選手や夏の大会に出場している選手も複数人いたことは、良い傾向だと感じた。

栄養では、バランス良く食べること、朝ご飯をしっかりとおくことを、多田選手の好みや、苦手なものを交えながら話を進めた。また朝食の中でも簡単でかつ摂りやすい食材を挙げてもらい説明をした。多田選手にも苦手なものがあるとわかると、選手たちの笑いを誘った。事前に参加選手から多田選手へのアンケートを実施し、当日はその中から2名を抽選箱から選んでもらった。2名が登壇して直接質問をし、それぞれ回答してもらった。最後に多田選手に今後の抱負と、選手たちへ大会でのエールを送り、大歓声の中降壇した。

その後、翌日に行われるキッズデカスロンチャレンジの説明を行い、研修会は終了した。

15時15分には監督会議に出席していた監督も戻り、チームごとにとまとまって、「カップスノードルミュージアム 大阪池田」見

学へ向かった。

第2日目は万博記念公園内特設コースにて、友好タイムトライアルとクロスカントリーリレー大会が行われた。

開会式は、主催の日本陸連八木雅夫副会長、公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 理事長 日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO 安藤宏基様にご登壇いただき、参加50チームの選手団が一同に整列して、激励のご挨拶をいただいた。

選手宣誓は、山形県代表の寒河江西村山E Tジュニアの古沢颯太くん大沼美月さんの二人が元気よく行い、大会を盛り上げてくれた。

天候は晴れ時々曇り。10度を少し超え選手達にとっては、寒すぎず、ちょうど良い気温となった。11時30分に女子友好タイムトライアル、11時40分に男子友好タイムトライアルがスタートした。レースには日清食品グループ陸上競技部の諏訪利成コーチが参加をし、小学生と一緒に走った。

クロスカントリーリレーは、11時50分に第1走者が一斉にスタートした。1区から6区まで終始北浜ジュニアランニングクラブ(兵庫)がトップを譲らず独走のままゴールテープを切った。2位の芳賀真岡陸上クラブ(栃木)、3位の市原AC(千葉)、4位のKJR Legacy(東京)が昨年同様、上位争いをし、関東勢が独占した。競技結果の詳細については日本陸連のホームページをご覧ください。

大会終了後の開会式の前後で、キッズデカスロンチャレンジを行った。2年前よりゴールデングランプリや日本選手権、夏の全国小学生陸上競技交流大会などで行っている。

いろいろな種目にチャレンジしようということで、場所や器具、学年に応じて行えるのが特色である。今回は場所と時間の関係で3種目(10mタイムトライアル、立三段跳び、ターゲットスロー)となった。競技終了後の為、クールダウンやミーティング等で参加できないチームもあったが、200名を超える選手が参加をしたので、半分以上の参加となった。中には10mを8回チャレンジした選手も見受けられた。普段行わないタイム計測や距離や得点で競うことで興味を誘い楽しそうに実施しているようだった。今後もこの活動は様々な大会で続けていく。

なお、昨年の報告書でも記載したが、今大会も連続出場ของทีมが多く見られた。特に、過去3大会でトップ8のチームの内5チームは連続入賞していることから、常連で出場するチームが上位にきている傾向がある。本大会の趣旨は、普及・研修を目的とした大会と位置づけ、より多くのチームに参加してもらい、より多くの子供たちが走ることに関心を持ち、継続してくれることを期待している。都道府県でのチーム選考については過去にも議論や問題があり、今年も残念だがそのような連絡があった。今後、日本陸連普及育成委員会として、競技者育成指針や、研修大会の主旨に立ち返り、運営や選抜方法を大きく変えていく。

最後に、後援・協賛・協力を頂いた各団体と主管いただいた大阪陸上競技協会の皆様にご心より感謝申し上げます、今大会の報告とする。





# JAAF公認コーチ養成講習会 専門科目講習会報告

普及育成委員会 指導育成部 沼澤秀雄

味の素ナショナルトレーニングセンターにおいてJAAFコーチ（公認コーチ）養成講習会を2018年12月24日～27日の日程で開催した。JAAFコーチ講習会の目的は、国内トップレベルの競技者の指導・育成・強化にあたる指導者を養成することである。資格取得には日本スポーツ協会主催の集合研修40時間（他競技と合同）とその他研修152.5時間を受講した上で、当連盟主催の集合研修40時間を受講し、自宅学習20時間を経て試験に合格する必要がある。今回の受講者は都道府県陸協で強化担当を務める中学、高校や大学の教員、現役アスリート、実業団所属の指導者など86名で、今年度、実業団指導者枠を30名確保しての開催となった。

一昨年に起きた、ハンマーが頭部に当たるといった部活動事故を受けての安全対策に加えて、今回は講習会の冒頭に「鉄剤注射の禁止」についての注意喚起を行った。このことについては、栄養学、ドーピング防止、スポーツ医学の講義でも講師に触れていただき、「アスリートの貧血対処7箇条」の資料と共に受講者に徹底したアナウンスを行った。



講習は基礎理論と実技に分けて行われ、主な基礎理論では日本陸連尾崎専務理事から日本陸連の指導者育成に関する考え方について、強化委員会の麻場一徳委員長から2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた日本陸連の強化方針について、普及育成委員会の繁田進委員長からは2017年の「JAAFビジョン」をもとに2018年に公表した「競技者育成指針」についての講義があった。最終日のグループワークでは女性競技者育成の視点から女性指導育成の方法や問題点についてディスカッションを行い、意見をポスターにまとめプレゼンテーションを行った。



実技では、2日間にわたって短距離、ハードル、競歩、跳躍、投てきと幅広く種目別指導が行われた。また、3日目は指導実践のなかで指導実習を実施した。受講者は指導実習に先立ち、

コーチングにおいて必要な、コーチ哲学およびスキルを講義によって学習しており、その実践の場を指導実習とした。具体的には、受講者に専門以外の種目について指導案を作成してもらい、それに沿って自ら場所を設定して基本的な指導実践を行うというものである。その指導実践の評価およびフィードバックは国際陸連レベルI講師の資格を持った講師陣が担当した。この講習会において国際陸上競技連盟の基準に則った指導方法を紹介することで、日本陸上競技連盟としての指導方針と基本的な指導方法の一貫性が保たれ、陸上競技の裾野の拡大や事故の防止、ジュニア・ユース選手の育成やトップレベルの強化につながるのではないかと考えている。



今回は長距離を中心として指導する受講者が多かったため、実技講習や指導実践においては、不慣れで負担も多かったが、積極的に取り組んでいただき、「陸上競技の様々な種目の指導方法を学び、興味深かった。」「専門外の種目指導を体験して、指導のポイントがわかった。」といった感想が寄せられた。指導者にとってコーチングスキルの実践は重要であるため、来年度以降も指導実習の進め方等をさらに検討して実施したい。

（公財）日本スポーツ協会は2019年4月に向けて公認コーチの名称変更を含めた資格制度の整備に取り掛かっている。本連盟も連携を取りながら資格の位置づけや内容等についてワーキンググループを設置して検討している。本連盟は公認ジュニアコーチも含め公認指導者を2020年東京オリンピック・パラリンピック、またその先を見据えて認定していき、より多くのレベルの高い公認コーチを養成していく計画である。また、女性指導者育成に関しては全国普及育成担当者会議において都道府県陸協から女性受講者の推薦を積極的のお願いしている。特に公認コーチ養成講習会は女性の受講者が少ないため、女性を推薦していただいた場合は、あと1名追加で受講していただけるような制度を昨年から実施している。一方で資格取得者が資格を失効することがないように、資格更新の義務研修を充実させるとともに情報発信等の取り組みを行い、より多くの公認資格者の育成と指導力向上の支援に努めていきたいと考えている。



# 2018年度 全国検定員会議 報告

施設用器具委員会

日時 2018年11月24日(土)25日(日)

場所 小田急第一生命ビル11階 会議室

出席者 施設用器具委員会(13名)

都道府県推薦検定員(47名)

日本陸上競技連盟事務局(6名)

施設用器具委員会では、全国検定員会議と全国区域技術役員会議を隔年で開催しており、2018年度は全国検定員会議を実施した。各都道府県陸協より47名が推薦(新規12名)され、2日間の会議に参加した者が2019・2020年度の検定員として活動していくことになる。以下は2日間の会議の概要である。

## 【第1日】司会:山口幹事

◇配布物◇ 全国検定員会議資料冊子、陸上競技場並びに長距離競走(歩)路検定要項草稿2018、Run Linkパンフレット、記録用紙一式、検定要項草稿アンケート

◇開会◇ 施設用器具委員会 副委員長 福島信久

◇挨拶◇ 日本陸上競技連盟 専務理事 尾縣 貢

東京オリンピック・パラリンピックまで、1年8ヶ月を切った。日本陸上競技連盟及び日本陸上界全体の問題として取り組んでいきたい。

オリンピック・パラリンピックの後、若者やマスターズも含め陸上を愛する人たちが、自由に陸上競技できる施設の維持も求められている。先を見据えた取り組みの一つとして、11月1日に発足したRun Linkは、ランニングの人口を増やすことによってマラソンのブームではなく文化に押し上げていく。

## 施設用器具委員会 委員長 高木良郎

検定では、全国どこでも、正確で、公平で、よりよい環境で競技会ができる施設が求められてきている。陸上競技を取り巻く環境も、すさまじい勢いで変化をしてきている。

2年前は、第1種、第2種公認競技場の「B競技場」の解消が課題であり、昨年は種目別の陸上施設と屋内の種目別の施設を公認できるように規則改正し、今年は、世界で初めての投てき用人工芝の導入をすることとした。

検定要項の草稿は、みなさんの意見を聞いて新しい要項を発行したい。

オリンピック・パラリンピックが近づき、参加標準記録からランキング制度に代わり、ランキングの高い大会に参加するように選手の動向もあり、競技場のIAAF認証を取得するなど、新たな動きが出てきている。また、JAAFビジョンの一つである、新しいロードランニングの取り組みRun Linkが構築された。

この会議をきっかけに、より一層の検定業務の向上に研鑽を深めていただきたい。

## ◇会議◇

(1) 検定の心構えと検定の注意事項 講師:高木委員長

下記事項の説明

### 1. 検定制度の概要

・検定制度

1929年より競技場認定規定が制定され公認検定が実施されていて、検定制度により全国どこでも同じ条件で、すべての種目の競技会が開催できる。

・検定に関する規則

昨年度、屋外種目別陸上競技施設公認に関する細則が加わった。

・国際陸連(IAAF)の認証制度

1994年に競技者の身体的安全性、記録の客観性と公平性の確保等を目的とした、4つのIAAF認証制度が実施されている。

2. 検定員の役割

3. 検定員の心構え

4. 検定業務の総合注意

5. 近年の事例、課題

競技場検定と長距離競走(歩)路の事例、相談事例、ランキング制度と陸上競技場、長距離コース、Run Link設立による長距離コースの計測、公認の保留、条件付公認などの課題について

## (2) Run Linkの概要

講師:事務局事業部新規事業室 畔蒜洋平

2017年10月1日に新規事業室ができ「JAAF Run Link」プロジェクトを2018年の11月1日にスタートさせた。公認大会の規定が、「共催または主管に陸連及びその加盟団体が入る大会は、陸連の公認大会の主権を認める」と変更になった。今後公認希望が増えると思うが、協力願いたい。ランニング人口を、2040年2000万人に増やすという目標がある。距離の重要性や広報、人の養成などの環境作りを今後の課題としてやっていく。個別案件も、「Run Link」のなかで整理をしていく。例として、災害の対応や夏場の熱中症対策などを取りまとめ主催者との関係を築き課題解決に取り組む。「Run Link」加盟の料金は無い。

## (3) ランキング制度とIAAFの動向

講師:事務局国際担当部長 関幸生

検定員の活動は、IAAFに認められ、世界に最も近い活動となっている。

### 1. IAAF規則の修正手続き

日本陸連の規則は条項の番号も含めてIAAFの規則と同じ。例外として国内適用、国際と書かれている部分がある。IAAFは2年周期でルール改定。

### 2. IAAF施設マニュアル

IAAFのホームページからダウンロードできる。IAAFが推奨するマーキングの図面や屋外・室内用もあるのでIAAF施設マニュアルを参照されたい。

### 3. IAAF規則2018修改正

代用縁石が記載されたことにより、水濠への走路、グループスタートの位置の根拠となる。

### 4. IAAF認証制度と日本陸連公認/検定

舗装材の材質をチェックする検査機関が日本にひとつ新たに生まれた。埋め込み式の縁石は日本のオリジナルである。160条に合うよう対応を。

### 5. 投てき可能な人工芝

IAAFは公式に認めている。投てき可能な人工芝の規定を日本陸連が世界に先駆けてつくった。

### 6. IAAF技術委員会会議2018年での重要事項

日本の報告書は高い評価を受けている。日本陸連の施設用器具委員会の検定員は、IAAFの検定資格を自動的に登録される。自立式の囲いは、風の抵抗値

などの証明書が必要となる。

7. 自転車計測とIAAF

8. ワールドランキング制度

ワールドランキング・ポイントランキングが2019年から導入される。

アジア陸連のパリミット大会を開くにはIAAF認証が必要となる。ロードも、IAAF認証コースでなければならない。競歩ピットレーンの採用

(4) 規則の修正と対応 講師:高木委員長

1. 2018年度の競技規則の修正 (施設関係)  
公式計測員は、IAAF規則では削除されたが、国内規則で第139条に残った。代用縁石を使用することがIAAF規則で明文化され、全部並べることになるだろう。円盤投用囲いの高さが高くなる。長距離競走(競歩)での世界記録、エリア記録は、委嘱された国際道路計測員が当日コース確認をする。
2. 2018年度の施設用器具委員会関係の規則修正  
公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程の改定。投てき用人工芝の採用。テイクオーバーゾーン位置の変更。競技用器具検定規程の改定。投てき用人工芝ガイドライン。すでに規則改正された施設用器具委員会関係の対応など。
3. 2019年度の施設用器具委員会関係の規則修正予定  
レーン、助走路は1m220。競技場施設の補足説明。長距離に関する変更。室内、種目別施設の設置基準の見直し。

【第2日】司会:山口幹事

(5) 公認の現状と報告書審査での注意事項

講師:鈴木特別委員

1. 陸上競技場の現状

2019年度に検定を受ける競技場は164カ所、競走路は65カ所ある。

2. 報告書審査での注意事項

審査の時は、報告書だけでなく、他の書類の添付も注意する。経路図・ポイント図も判断材料になるので提出願いたい。競技場名やコース名が違うとそのままルールブックに載ってしまうので注意する。公認希望年月日は新設・切り捨てがあった場合のみ記入する。年号は西暦で記入する。レーン幅の切り替えの時期であるから注意する。長距離コースの報告でパソコン利用での記入誤りが多いので注意すること。競走路では、公認期間がIAAFと国内で違う。

(6) 検定要綱草稿 (陸上競技場の検定1) 講師:米岡委員

11年ぶりに改訂し来年度4月までに作成するので協力されたい。

陸上競技場検定の基礎知識、検定の順序と使用器材、角度の検査、レベルの検査、トラックの計測についての説明。角石の画像を追加・符号の画像の変更。検定メジャーのテンションを10kgから100Nに修正した。検定メジャーの恒差は、採用する数値は1mmでも過ぎると先の数値を見る。計算式をきちんとしたものに変更した。

(7) 検定要綱草稿 (陸上競技場の検定2) 講師:山口幹事

レベルの検査、施設の検査(トラック・跳躍場・投てき場)、検査報告書の記入例、図面指導、現地指導についての説明。レベル計測は現状に合わせた。規則改正どおりの寸法へ変更。投てき可能な人工芝を追記した。記入例は、新しい書式に変更。図面指導は、地元検定員と結果を共有し、施設用器具委員会名で申請者へ回答して

いる。

(8) 検定要綱草稿 (用器具の検査と検定) と競技会での投てき検査 講師:高沼副委員長

用器具の検査と検定の概要、投てき用具の持ち込み検査、焼印用の焼き鏝について説明。代用縁石は、全てを並べるようになるため数を確認する。粘土板、棒高跳のマットは規格が変わったので注意が必要。日本での検定を受けていない投てき器具の持ち込みがある場合注意する。

(9) 検定要綱草稿 (長距離競走路の検定) 講師:福島副委員長

長距離競走路の検定・計測での注意事項、要項の変更点、一部変更の取扱い、報告書記入の注意点、経路図、道路計測の場所についての説明。5kmが新設され35kmが削除。新設には3分の1以上のコース変更も該当する。IAAF認証コースの変更は、基本的に自転車計測で行う。経路図は、検定日までに作成してもらう。継続検定も、必ず全コースを計測する。

(10) 検定に関する課題と意見交換 司会:苅込幹事

1. 競技場の種別

- ・IAAFクラス2の第1種競技場への義務付け  
統一していただけると非常にありがたい。ルールブックに明記を。
- ・4種競技場  
棒高跳や投てきを選択できる競技場を考えてほしい。屋外種目別競技場競技施設の常設要件も合わせて検討いただきたい。陸上競技上のあり方として、普及や強化というところも含め、陸上全体として考えていかなければならない。

2. その他

- ・300mHの設置  
HPに設置寸法が出ている。設置に時間がかかる。
- ・用器具関係  
1種・3種補助競技場において1種と3種で兼用できないか、それぞれの競技場に用器具があった方がよいという意見もあった。
- ・検定員名刺  
名刺は検定する上で必要である。ひな形を作り同じデザインで自作してよいのでは。

◇感謝状贈呈◇ 新潟県 速水検定員 奈良県 北谷検定員

◇挨拶◇ 高木委員長

この会議に参加した方は委員会から推薦し、承認されれば4月より検定員として活動していただく。

◇閉会◇ 高沼副委員長



# 日本陸連栄養セミナー2019開催要項

公益財団法人日本陸上競技連盟医事委員会では、2016年度より標記セミナーを開催し、選手および指導者に対する教育プログラムなどを実施しています。第4回目となる今回は『サプリメントを考える』をテーマに開催いたします。今回も陸上競技選手の栄養サポートに関わる方に広く集まっていただきたく、皆さまのご参加をお待ちしております。

イベント名	日本陸連栄養セミナー 2019
主催	公益財団法人日本陸上競技連盟
日時	2019年4月28日（日） 13時～16時30分（予定）
会場	味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室
参加資格	実業団、大学、高校、中学などの陸上競技の指導や栄養サポート、医学サポートに携わる方、都道府県陸上競技協会関係者
定員	120名
申込期間	2019年3月1日（金）～ ※定員になり次第締め切らせていただきます。
申込方法	日本陸連HPへ掲載いたします。※Web申込となります。 <a href="http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/">http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/</a>
参加費	2,000円 ※セミナー当日に受付にて申し受けます。
問合せ先	日本陸連 強化普及部 kyoka@jaaf.or.jp

## ▼昨年度実施風景



# 2018数字で見る陸上競技 Vol.4 都道府県別高校生陸上競技部員割合

事務局

2018数字で見る陸上競技、4回目の今回は、高校生の陸上競技部員の全高校生生徒数における割合を都道府県別に紹介します。

2017年度の日本陸上競技連盟における高校生登録者を、同年度の高校生生徒数（文部科学省調べ）で割ったものです。

【算出方法】割合(%) = (高校生陸連登録者数) ÷ (高校生全生徒数) × 100

都道府県名	2017年度高校生陸連登録者数	前年比	前年数	2017年度高校生全生徒数	2017年度割合	2016年度高校生全生徒数	2016年度割合
北海道	4,038	-132	4,170	125,164	3.2%	129,006	3.2%
青森	1,482	-1	1,483	34,902	4.2%	36,620	4.0%
岩手	1,826	32	1,794	33,689	5.4%	35,110	5.1%
宮城	2,559	-70	2,629	59,942	4.3%	61,345	4.3%
秋田	1,339	-32	1,371	23,947	5.6%	25,530	5.4%
山形	1,694	-24	1,718	30,160	5.6%	30,861	5.6%
福島	2,029	-98	2,127	50,924	4.0%	53,279	4.0%
茨城	2,379	10	2,369	77,044	3.1%	78,884	3.0%
栃木	1,556	40	1,516	53,276	2.9%	53,802	2.8%
群馬	1,662	-34	1,696	52,160	3.2%	52,890	3.2%
埼玉	5,686	102	5,584	175,655	3.2%	177,926	3.1%
千葉	5,787	-12	5,799	150,698	3.8%	152,551	3.8%
東京	8,459	-162	8,621	314,385	2.7%	318,447	2.7%
神奈川	5,967	-99	6,066	206,716	2.9%	208,172	2.9%
新潟	2,536	-12	2,548	56,649	4.5%	59,454	4.3%
富山	1,199	8	1,191	28,286	4.2%	28,624	4.2%
石川	1,233	-24	1,257	31,987	3.9%	32,574	3.9%
福井	869	69	800	22,265	3.9%	22,839	3.5%
山梨	909	-41	950	24,592	3.7%	25,501	3.7%
長野	1,757	-3	1,760	57,224	3.1%	58,584	3.0%
岐阜	2,094	-69	2,163	55,400	3.8%	56,508	3.8%
静岡	4,225	-58	4,283	98,846	4.3%	100,664	4.3%
愛知	7,860	-17	7,877	197,385	4.0%	201,322	3.9%
三重	2,222	-56	2,278	48,350	4.6%	49,843	4.6%
滋賀	1,698	4	1,694	39,473	4.3%	39,718	4.3%
京都	2,415	-38	2,453	70,815	3.4%	72,375	3.4%
大阪	6,564	-181	6,745	226,957	2.9%	235,580	2.9%
兵庫	5,817	-29	5,846	139,953	4.2%	144,943	4.0%
奈良	1,162	-33	1,195	35,745	3.3%	36,967	3.2%
和歌山	837	23	814	26,489	3.2%	27,857	2.9%
鳥取	700	-28	728	15,033	4.7%	15,461	4.7%
島根	790	-2	792	18,590	4.2%	18,886	4.2%
岡山	1,589	-42	1,631	53,688	3.0%	54,851	3.0%
広島	2,820	36	2,784	71,948	3.9%	73,258	3.8%
山口	1,726	-13	1,739	33,868	5.1%	34,834	5.0%
徳島	592	43	549	19,075	3.1%	19,693	2.8%
香川	990	45	945	26,479	3.7%	26,840	3.5%
愛媛	1,404	-12	1,416	33,942	4.1%	35,109	4.0%
高知	572	21	551	19,060	3.0%	19,431	2.8%
福岡	4,183	-103	4,286	130,736	3.2%	132,015	3.2%
佐賀	1,234	-21	1,255	24,527	5.0%	25,274	5.0%
長崎	1,930	-66	1,996	37,694	5.1%	39,679	5.0%
熊本	1,566	-19	1,585	47,590	3.3%	48,811	3.2%
大分	1,128	-11	1,139	31,329	3.6%	31,851	3.6%
宮崎	1,047	1	1,046	31,318	3.3%	32,052	3.3%
鹿児島	1,485	-26	1,511	45,985	3.2%	46,701	3.2%
沖縄	793	47	746	45,721	1.7%	46,820	1.6%
合計	114,409	-1,087	115,496	3,235,661	3.5%	3,309,342	3.5%

※高校生全生徒数は、文部科学省ホームページ統計情報 ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/main\\_b8.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/main_b8.htm)) 内、学校基本調査の高等学校＞全日制・定時制 学年別生徒数 からの抜粋

# 大会観戦ガイド

## 第102回日本陸上競技選手権大会男子・女子20km競歩 兼ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 男子・女子 20km競歩代表選手選考競技会 第30回U20選抜競歩大会

昨年は高橋英輝選手（富士通）が優勝し、アジア大会代表に内定と、毎年盛り上がりを見せている日本選手権競歩。今回も有力選手が出場します！

▼日時：2019年2月17日（日）

▼コース：兵庫・六甲アイランド甲南大学周辺コース

▼種目・スタート時刻

男子20km 競歩（日本選手権）	9時50分
女子20km 競歩（日本選手権）	10時10分
U 20男子10km 競歩	8時50分
U 20女子5km 競歩	9時00分

▼問合せ先：一般財団法人兵庫陸上競技協会

TEL 078-231-1771

▼日本陸連WEB内大会ページ  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1308/>



昨年度の大会の様子

## 第102回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走 第34回U20日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走 兼 第43回IAAF世界クロスカントリー選手権大会 日本代表選手選考競技会

日本陸上競技選手権大会として開催されるクロスカントリー競走。大自然の中の白熱したレースをお楽しみ下さい！

▼日時：2019年2月23日（土）

▼会場：国営海の中道海浜公園クロスカントリーコース  
福岡県福岡市東区西戸崎18-25

▼アクセス：

JR 鹿児島線「博多」駅発「香椎」駅乗り換え「西戸崎」駅下車

福岡市営渡船ベイサイドプレイス発、西戸崎港下船  
西鉄バス「天神中央郵便局前」発、「西戸崎駅前」下車  
うみなかラインもち（マリゾン）発、海の中道下船

▼種目・スタート時刻

U 20女子 6km	13時00分
U 20男子 8km	13時25分
シニア女子 8km（日本選手権種目）	14時00分
シニア男子 12km（日本選手権種目）	15時40分

▼テレビ放送予定：

2月23日（土）JNN系列  
全国28局ネット

▼問合せ先：

福岡クロカン運営本部事務局  
TEL 092-738-2180

▼日本陸連WEB内大会ページ  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1309/>



昨年度の大会の様子

## 東京マラソン2019 兼 ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2018-2019 ～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～ 兼 アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズⅧ

13回目を迎える東京マラソン。今年の9月・10月にドーハで開催されるドーハ2019世界陸上競技選手権大会の男子代表選手選考会を兼ねています。今年も多くのご声援をお願いします。

▼日時：2019年3月3日（日）

9時05分 車いすマラソン・10km スタート

9時10分 マラソン・10km スタート

▼会場：スタート／東京都庁前

フィニッシュ／東京駅前・行幸通り（マラソン）、  
日本橋（10km）

▼コース：マラソン／東京都庁～飯田橋～神田～日本橋  
～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷  
～東京駅前・行幸通り

10km／東京都庁～飯田橋～神田～日本橋

▼テレビ放送予定：日本テレビ系全国ネット

3月3日（日）日本テレビ系全国ネット

▼交通規制のご案内

HP：<http://www.marathon.tokyo/about/traffic/>

▼東京マラソンの交通のご案内  
等に関するお問い合わせ窓口  
TEL 03-6631-9645（受付時間：10:00～17:00 ※土日、祝日、年末年始を除く）

▼日本陸連WEB内大会ページ  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1325/>



昨年度の大会の様子

## 第74回びわ湖毎日マラソン大会

兼 ドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会  
兼 マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2018-2019  
～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～

男子マラソンのとしても、ドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手最終選考競技会熱い争いが繰り広げられます！

▼日時：2019年3月10日（日）12時30分スタート

▼会場（スタート・フィニッシュ）：

滋賀・皇子山陸上競技場

滋賀県大津市御陵町4-1

▼アクセス（皇子山陸上競技場）：京阪石山坂本線「別所」駅から徒歩1分またはJR湖西線「大津京」駅から徒歩7分

▼コース：日本陸連公認びわ湖毎日マラソンコース（42.195km）＝皇子山陸上競技場－柳が崎－瀬田唐橋西詰－石山寺－瀬田川洗堰－瀬田唐橋東詰－県立漕艇場－新瀬田浄水場前折り返し－皇子山陸上競技場

▼放送予定：3月10日（日）

〈テレビ〉NHK総合

〈ラジオ〉NHKラジオ第一

▼問合せ先：びわ湖毎日マラソン大会事務局

TEL 06-6346-8249

▼日本陸連WEB内大会ページ

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1333/>



昨年度の大会の様子

## 名古屋ウィメンズマラソン2019

兼 ドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会  
兼 マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2018-2019  
～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～

大型ウィメンズマラソンとして生まれ変わって8年目を迎える名古屋ウィメンズマラソン。女子マラソンのドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手最終選考競技会として開催します！

▼日時：2019年3月10日（日）9時10分スタート

▼会場（スタート・フィニッシュ）：

愛知・ナゴヤドーム

愛知県名古屋市東区大幸南1-1-1

▼アクセス（ナゴヤドーム）：

地下鉄、ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩5分

JR、名鉄「大曽根」駅から徒歩約15分

▼コース：名古屋ウィメンズマラソンコース

▼テレビ放送予定：東海テレビ（フジテレビ系列全国ネット）

▼問合せ先：

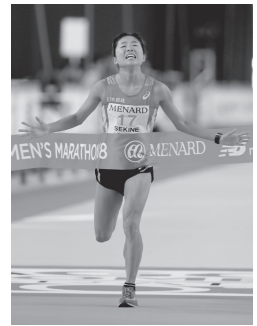
マラソンフェスティバル  
ナゴヤ・愛知ランナーホールセンター

TEL 0570-550661

（平日10：00～17：00）

▼日本陸連WEB内大会ページ

<http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1232/>



昨年度の大会の様子

## 第43回全日本競歩能美大会

兼 Asian 20km Race Walking  
Championships in NOMI 2019

兼 ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 男子・女子20km競歩代表選手選考競技会  
併催 第13回日本学生20km競歩選手権大会

アジア選手権を兼ねて開催する本大会。日本のトップウォーカーがアジアNo.1を目指してハイレベルな争いを繰り広げます。また、9・10月カタルで開催されるドーハ2019世界陸上競技選手権大会の男子・女子20km競歩の代表選手選考競技会としても開催します。

▼日時：2018年3月17日（日）

▼コース：石川県能美市・

日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース  
（2.0km周回コース）

▼アクセス（石川県能美市浜小学校付近）：

小松空港からタクシーで約15分。北陸本線「小松」駅もしくは「能美根上」駅下車、小松駅からタクシーで約15分、能美根上駅からタクシーで約3分、徒歩約7分

▼種目・競技時間：

〈男子〉

中学生 3km競歩 8時20分

高校生 10km競歩 12時30分

全日本・Asian・学生選手権 20km競歩 9時00分

〈女子〉

中学生 3km競歩 8時20分

高校生 5km競歩 12時40分

全日本・Asian・学生選手権

20km競歩 10時35分

▼問合せ：第43回全日本競歩能美大会実行委員会事務局  
TEL 0761-58-2273

▼日本陸連WEB内大会ページ

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1317/>



昨年度の大会の様子



## 一般財団法人富山陸上競技協会

〒939-8234 富山市南中田368番地  
富山県総合運動公園陸上競技場内  
TEL.076-461-5917 FAX.076-461-5927  
<http://www.jaaf-toyama.net/>

昨年は、スポーツ界の様々な問題がマスコミで大々的に報じられた。パワハラ、セクハラ、暴力、金銭問題等々、東京2020を控え、潜在していた数々の問題が表出しだしたようである。陸上競技においても、若い世代の長距離選手に対する鉄剤注射が競技者の健康を脅かす問題を抱えるものとして大きな関心をもって取り上げられていた。

そのような中、本県においては1年前から「倫理規定」の策定にとりかかっている。県内で特別に大きな問題があったというわけではないが、特に若い世代の育成に大きな役割を担う協会の使命を果たすため、次の2点を目的に掲げて倫理規定の策定を進めた。1点目は、「陸上競技に関わる者全てが、自らその品位を保持し、互いの人格を尊重する風潮を醸成する。」ことである。陸上競技を通して社会教育に関わる協会関係者として、その範となるよう、日頃の言動、服装を含め、常に信頼される責任ある行動をすることを求めるものである。2点目は、起こりうる様々な問題の「未然防止」である。とりわけ、中学生といった若い世代の選手を大人の問題に巻き込むことは、絶対にあってはならないと考えている。

この倫理規定は、日本陸連が示す倫理ガイドラインに沿って作成した試案にもとづき、外部委員を含む倫理委員会にて原案を作成し、本年1月の理事会において決定の後、加盟団体を通して、また協会公式HPや審判講習会、その他様々な場面を通して関係者に周知を図っていききたいと考えている。



## 一般財団法人石川陸上競技協会

〒921-8833 野々市市藤平144-5  
TEL.076-227-9410 FAX.076-227-9410  
<http://gold.jaic.org/ishikawa/>

福井県で開催された国民体育大会では、女子少年三段跳で宮口愛子さん（星稜高校）、全日本競歩高島大会中学3km競歩で山本優喜君（輪島中学）、パラの部ではジャパンパラ大会で森光祐矢君（SMBC日興證券）が800m、松井虎太郎君（星稜大学）が日本聴覚障害者選手権1500mの4名の選手が優勝致しましたことは大変喜ばしい限りであります。また、障害者の部の全国大会で8名の選手が入賞したことは、東京パラリンピックに向けて大いに期待したいところであります。

今年度の県新記録は、5種目5名の選手と、遊学館高校の駅伝で更新し、中でも女子100mハードルで吉田唯莉さん（筑波大学）がアジアジュニア選手権では県新記録のみごとに優勝したことを含めて大いに賞賛したいと思います。

特に本県で盛り上がったのは、女子4×100mリレーで全国高校総合体育大会では星稜高校が8位、全国中学校選手権大会で浅野川中学が4位、ジュニアオリンピック大会で男子リレーで選抜チームが7位、全国中学校駅伝大会の女子で七尾中学が3位に入賞したことは、大きな励みを受けると共に強化の賜物と考えております。今後も普及部から一般・大学まで連携した強化を目指していきたいと考えております。

最後に本県で開催されます全日本競歩能美大会が3月17日に能美市で開催されますが、今回から高校の部として男子10km競歩、女子で5km競歩の種目が復活致しますので、多くの高校生の参加をお待ちしております。また4月13日・14日に輪島市で開催されます全日本競歩輪島大会で、男子50km競歩で活躍されました日本競歩の牽引者でもある（故）斎藤和夫氏を認んで「男女10kmの部を斎藤和夫杯」として開催致しますのでよろしくお願ひ申し上げます。

（文責：専務理事 藤垣晴夫）



## 一般財団法人福井陸上競技協会

〒918-8585 福井市三十八社町33-66 フクビ化学工業株式会社内  
TEL.0776-38-0360 FAX.0776-38-0361  
<http://www.fukui-jaaf.com/>

### 福井陸上競技協会の状況

2018年「2018福井しあわせ元気国体」開催に際しまして、公益社団法人日本陸上競技連盟様をはじめとして、多方面の方々にお世話になり、無事終了することができました。これもひとえに陸上競技を愛する皆様のおかげと心より御礼申し上げます。福井国体においては、山縣選手（セイコー）らの活躍により、入場者数は、14000人（10月6日）を超え、異常な盛り上がりの大成功へ導くことができました。

さて、福井国体を無事終了し、選手の活躍はもちろんのこと、競技運営の運営能力が格段に力をつけることができました。この人的財産を生かし、2019年8月17日（土）9.98スタジアムにおいて、スポーツイベントを開催します。この大会は、地域の子供から大人までそして日本のトップ選手も招待し、非常に賑やかで皆さんが陸上競技を楽しめる大会にしたいと思っています。どうぞご期待下さい！

（文責：専務理事 木原靖之）



## 一般財団法人長野陸上競技協会

〒381-0038 長野市東和田632 長野市営陸上競技場内  
TEL.090-1867-7044 FAX.026-241-5155  
<http://nagano-rk.com/>

2019年を迎え、長野県の陸上は、1月13日に開催された「皇后盃第37回全国女子駅伝」は、過去最高成績で6位入賞。さらに1月20日に開催された、「天皇杯第24回全国男子駅伝」では、最終区まで接戦の中3位入賞と幸先良いスタートとなりました。特に女子駅伝は地元実業団選手がない中、長野東高校の現役・OGを中心としたチームでの大健闘でした。また、昨年末、開催の「全国高校駅伝」では、女子の長野東高校が2年連続準優勝、男子佐久長聖高校も2連覇こそ逃したが、5位入賞するなど「駅伝王国長野」の力を存分に発揮しました。その佐久長聖高校出身の大迫傑選手が、マラソンで日本新記録を樹立するなど長野県にとって明るい話題が続きました。

2019年は3月の「春の高校伊那駅伝2019」を皮切りに、4月の「長野マラソン」と、全国から多くの選手が長野県でその力を発揮して頂けることをお祈りいたします。

（文責：事務局長 葛城光一）







事務局からのお知らせ

◆◆「IAAF 世界リレー 2019 横浜大会」大会ロゴ決定!◆◆

2019年5月11(土)、12日(日)の両日に横浜市(横浜国際総合競技場)で日本初開催となるIAAF世界リレー 2019 横浜大会。その大会ロゴが決定しましたのでお知らせいたします。

# IAAF World Relays YOKOHAMA 2019™

## セカイリレーヨコハマ

開催地の横浜を象徴する「青」と日本を象徴する「日の丸」を組み合わせたデザインです。  
ロゴ詳細はこちら▶<http://www.jaaf.or.jp/news/article/12369/>

【公式SNS開設】

Twitter @IAAFYokohama19  
Instagram <https://www.instagram.com/IAAFYokohama19>  
Facebook <https://www.facebook.com/IAAFYokohama19/>

◆◆メールマガジン配信中!◆◆

日本陸連公式メールマガジンを好評配信中です。  
登録は<https://www.jaaf.or.jp/mailmagazine/>か、右のQRコードから!



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩 (陸連会長)  
友永 義治 (陸連副会長)  
八木 雅夫 (陸連副会長)  
尾縣 貢 (陸連専務理事)  
麻場 一徳 (陸連強化委員長)  
風間 明 (陸連事務局長)  
高橋 克実 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘  
◇時報編集担当  
繁田 進  
石塚 浩  
青木 和浩  
宮田 宏  
廣瀬 静香

陸連時報編集室

〒163-0717  
東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル17階  
公益財団法人日本陸上競技連盟 内  
TEL 03-5321-6580  
FAX 03-5321-6591  
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>  
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>